

2012年11月22日—25日

サンクスギビング特別集会のメッセージアウトライン

主題：祈りと主の行動

メッセージ 1

祈りの意義、祈りの原則、召会の祈りの務め

聖書：マタイ6:9-10. 18:18-20. ヨハネ15:7. エペソ6:18.

I ヨハネ5:14. ユダ20節

I. 祈りの真の意義とは、わたしたちの霊の中で神と接触し、神ご自身を吸収することです——ユダ20節. ヨハネ14:13. 15:7 :

- A. 祈りは人の霊と神聖な霊との接触であり、接触している間に、わたしたちは神を吸い込みます——ユダ20節. ヨハネ4:24。
- B. 真実な祈りとは、わたしたちが霊の中で、霊なる神とミングリングされる祈りです——ユダ20節. エペソ6:18. ローマ8:16. I コリント6:17 :
 - 1. 祈りは、神がわたしたちの霊とミングリングされて共に祈るものでなければなりません。
 - 2. 真の祈り、すなわち、神と人の双方に関わりを持つ祈りは、神の霊が人の霊とミングリングされ、人の霊が神の霊とミングリングされた祈りです——ユダ20節. ローマ8:4, 26。
 - 3. この祈りの中で神と人は共にミングリングされ、神は開始する方、動機づける方です。神は人の中で祈り、人は神の中で祈ります——ヤコブ5:17。
- C. わたしたちが真実な祈り、すなわち、神によって開始され、神と接触する祈りを持つとするなら、聖霊の中で祈らなければなりません。聖霊の中の祈りとは、わたしたちと聖霊が、二つ霊の交わりの中で共に祈ることを意味します——ユダ20節. II コリント13:14. ピリピ2:1。
- D. わたしたちがその中で神と接触し、神を吸い込み、神を吸収し、神で満たされる祈りが、真実な祈りです。このような祈りだけが神にささげられるべきです——啓5:8. 8:3-4。

II. わたしたちは祈りの原則にしたがって祈る必要があります。祈りの原則にしたがっている祈りだけに、価値があります——マタイ6:9-10. ヨハネ15:7. I ヨハネ5:14 :

- A. 祈りの原則とは、神が起き上がって働く前に、神の民が祈らなければならないということです——マタイ18:18-20. ヨハネ15:16:
1. 神は独自で行動しませんし、単独で彼のみこころを成し遂げません。むしろ、神の民が祈りの中で彼に同意し、彼と一であってはじめて、彼はみこころを成し遂げます——コロサイ1:9. 4:12。
 2. 神の意図は、わたしたちの祈りを通して、神のみこころを成し遂げることです。神のみこころは、彼との結合におけるわたしたちの祈りによって成し遂げられます——ヨハネ15:7. Iヨハネ5:14。
- B. 祈りとは、信者たちが神と共に働いて、彼のみこころを成し遂げる行為です——コロサイ4:2, 12. マタイ6:9-10:
1. 祈りの目的は、わたしたちが神のみこころと一になり、神が働くことができるようにすることです——啓4:11. 5:8. 8:3-4。
 2. 祈りは信者たちの意志と神のみこころとの結合であり、信者たちが神のみこころを語り出すことです。祈りは、信者たちが神の御前で、彼のみこころを成し遂げてくださるようにと求めることです——ヨハネ15:7. マタイ6:9-10。
 3. 祈りの真の意義とは、祈る者が、自分の祈る方のみこころを成し遂げてくださるようにと求めることです——26:39:
 - a. わたしたちは神の御前で、神の心の願いを神に応答し返し、わたしたちの心を空にして神を尋ね求め、彼がみこころを成し遂げてくださるようにと求める必要があります。
 - b. 全宇宙でただ一つの合法的な祈り、神を喜ばせるただ一つの祈りがあります。それは、神のみこころを成し遂げることを求める祈りです——6:9-10. 7:21. 12:50. ヨハネ6:38。
- C. もし、わたしたちが祈りの中で神と共に働かず、祈りを通して彼のみこころのための道を備えず、すべての祈りの手段によって彼に多方面で行動する可能性を持っていただかないなら、彼は働くことをせず、また働くことができません——マタイ6:9-10. 18:18-20:
1. わたしたちの最も重要な働きは、神のために道を開くことです。神に共感する祈りは、他の何を行なうことよりも重要です——使徒6:4. 10:9。
 2. 神は、彼の子供たちが彼に共感する事柄の上でのみ働くことができます。彼は、祈りのない所で、彼の民の意志が彼と結合していない所で、働こうとしません——1:14. 4:24-31. 12:5。
- D. わたしたちは神の働きの原則と、彼の行動の秘訣を見なければなりません

ん——ヨハネ15:7:

1. 神は行ないたいことを、人がもし欲しないなら、行なうことができません——4:34. 5:30。
 2. これは明確な原則です。すなわち、たとえ神はある事柄を決定しても、それをすぐには行ないません——15:7。
 3. 地上での神のすべての働きは、その働きを行なうことに同意し、決意する意志が地上にあってはじめて、成し遂げられることができます——Iヨハネ5:14。
 4. 神と関係があるあらゆることは、彼と協力する意志が地上にあってはじめて、成し遂げられることができます。神は、彼の意志と調和した人の意志を持たなければなりません——マタイ6:9-10. 26:39。
- E. わたしたちが神と共に働く最高の点は、神が成し遂げようとするのを成し遂げていただくよう、一つ思いで求めることです——Iテモテ2:8. 使徒1:14. 6:4。

III. 祈りの集会は、召会の祈りの務めを執行するためです——1:14. 4:23-31. 13:1-4. 16:25:

- A. 召会の祈りの務めとは、神が行ないたいことを召会に告げ、召会が地上で、神が行ないたいことを祈ることです。この祈りは、神が行ないたいことを成し遂げてくださるよう、求めることです——マタイ18:18-20。
- B. 神は行ないたいことを、単独で行なうことはできません。彼はそれを、召会の協力をもって行なわなければなりません——使徒12:5。
- C. 召会の務めは、天のみこころを地にもたらすことです——マタイ6:9-10:
1. 働きの性質がある祈り、務めの性質がある祈りは、わたしたちが神の側に立ち、神が欲していることを欲する祈りです——コロサイ1:9. 4:12。
 2. 召会の最高で最大の働きは、神のみこころの出口となることです。召会は神のみこころの出口であり、それは祈りを通してです——マタイ6:9-10。
- D. 召会の祈りが意味するのは、神があることを行ないたいとき、召会がまずその事柄について祈り、それが実現されることができ、神の目標が達成されるようにするということです——18:18-20:
1. 神の力は天で無限ですが、神の力が地上でどれほど現されるかは、召会がどれほど祈るかにかかっています——6:9-10。
 2. 召会の務めは祈りです。召会は大きな祈り、真剣な祈り、強力な祈り、

すなわち、わたしたちの神を現し、彼が行動する道を開く祈りをしなければなりません——ヨハネ14:23. 15:16. 16:23-24. 使徒4:24-31。

©2012 *Living Stream Ministry*